

令和8年度 八幡エルモ 事業計画書

1 今年度の目標

・にぎわいづくり事業をすすめ、魅力あるまちづくりを目指す
・楽しさややりがいを感じながら持続可能なコミュニティを図ることで、担い手不足解消を目指す

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	八幡学区敬老会	(10)事業中(1)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(6) 地域の高齢者、障害者等への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年10月4日	
(2) 実施場所	広島市立八幡小学校	
(3) 参加者数	300人(見込み)	
(4) 主催団体	八幡エルモ、八幡学区社会福祉協議会	
4 取組内容	学区内の80歳以上の高齢者約1300名を対象(町内会未加入者も参加可)に敬老会に招待。取りまとめは町内会。毎年出席者は300名前後。受付時に記念品、お茶、食券贈呈。式典では小学生、中学生からの演奏のプレゼントもあり。引き続き開催する八幡ふれあいまわりのステージでは高井神楽団の演舞もあり、皆さんに大変喜ばれている。	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) ・ 高齢者の外出・交流の機会の減少、孤立化を防ぎ、高齢者の自立生活の向上を促す。 ・ 交流の場を創出することにより、地域社会の活性化に貢献する。 ・ 小学生、中学生にも参加してもらうことで、高齢者の福祉への理解を深め、敬老精神を醸成する。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) ・ 敬老会を通じて、高齢者福祉への関心と理解を深め、地域全体で高齢者を大切にする意識を高めることができる。 ・ 高齢者にとっては一年の一大イベントとして外出の機会を設けることで、日常のアクセントづくり、居場所づくりにもつなげる機会になっている。 ・ 準備から当日運営を住民がすることで、住民同士の交流を深める場にもなっている。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	防災教室	(10) 事業中 (2) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(8) 地域の防災又は減災に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年9月25日	
(2) 実施場所	広島市立八幡小学校	
(3) 参加者数	120人（見込み）	
(4) 主催団体	八幡エルモ、八幡学区自主防災連合会	
4 取組内容	・ 学校地域連携支援授業として、八幡小学校4年生対象に防災士による防災授業 ・ わがまち防災マップ、ハザードマップの見方や自宅の位置確認 ・ 動画による水の怖さの訴求、ぼうさいNURIEで災害時持出品の説明 ・ なぜ地域行事を盛んにするのかの説明	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・ 地域住民の防災意識を向上させるため、災害時の知識を楽しみながら学ぶことができる防災教室を実施し、得た知識を家庭で共有することにより、防災に対する知識や意識の向上を図る。 ・ 地域行事を行う目的や町内会の大切さを学んでもらう。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・ 発災時に、地域住民が安全に避難等できるような体制づくりができる。 ・ 町内会の重要性を知ってもらうことで、今後の地域活動への参加につながる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	こども健全育成事業	(10) 事業中 (3) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等	(1) 実施期間 オトナもコドモも春まつり : 令和8年4月25日 八幡こども夏まつり (やはた縁日) : 令和8年8月23日 八幡こども節分まつり : 令和9年1月30日 (2) 実施場所 広島市立八幡小学校、広島市八幡公民館 (3) 参加者数 700人 (見込み) (4) 主催団体 八幡エルモ、八幡学区子ども会育成協議会、八幡おやじの会	
4 取組内容	(オトナもコドモも春まつり) 自宅から会場の八幡小学校まで歩いてきてもらい、道中のこども110番の家の数を申告。町単位でチーム分けして行う防災運動会 (簡易たんか作り搬送、水消火器、バケツリレー、備蓄倉庫クイズ、綱引き、パン食い競争、アルファ化米・カレー・羊羹・クラッカー試食、地域防災タイムライン、ぼうさいNURIE、避難グッズ展示)。体協主催のスポーツ紹介&体験会。ビンゴ大会。 (八幡こども夏まつり (やはた縁日)) 竹灯りづくり、ミニ綿菓子、二次元巨大迷路、箱の中身あて、ペットボトルボーリング、かたぬき、シャボン玉、かき氷、スーパーボールすくい、射的、ガチャガチャなど、防災企画 (わがまち防災マップ、防災工作、ぼうさいNURIE、水消火器、耐震クイズ) (八幡こども節分まつり) 豆まき、中学生ボランティアがハンターになり逃走劇、だるまさんが転んだ、サッカー教室	
5 目的・効果	(1) 目的 (どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 子供や保護者だけでなく、地域住民も一緒になって楽しむことができるイベントを実施し、様々な体験を通じて子どもの感性を育みながら、魅力ある八幡を好きになってもらい、住んでいて良かったと思える八幡のシビックプライドの醸成を図る。 (2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) ・ 地域住民が交流できるイベントを通じて地域活動の楽しさをアピールすることで、地域活動への関心の向上や次代の担い手の確保、子どもが交流し楽しめる地域行事の維持・継続につながることを期待できる。 ・ 準備段階から中学生ボランティア、地域住民の協力を得ることで地域連携力が向上する。 ・ 多世代交流を通じて、地域の温かさの再認識やこどもの健全育成につながることを期待できる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	八幡打ち上げ花火	(10) 事業中 (4) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年10月31日	
(2) 実施場所	広島市立城山中学校	
(3) 参加者数	1,000人(見込み)	
(4) 主催団体	八幡エルモ、八幡おやじの会	
4 取組内容	・ 城山中吹奏楽部による演奏、公民館サークルのダンスによる子どもステージ ・ 花火の打ち上げ	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・ 地域への愛着を深めるため、ステージ発表や打ち上げ花火を鑑賞して感動を共有することで魅力ある八幡を好きになってもらい、住んでいて良かったと思える八幡のシビックプライドの醸成を図る。 ・ 中学生ボランティア、地域住民の協力を得ることで、地域の連携力や地域活動への関心を向上させ、次代の担い手の確保や子どもが交流し楽しめる地域行事の維持・継続につなげる。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・ 皆で真上に上がる花火を鑑賞することにより、行事への関心の向上、地域への愛着の醸成が期待できる。 ・ 若年層にも祭りに参加してもらうことで、地域行事への関心を高め、次代の祭りの担い手の確保へとつなげていく。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	八幡とんどまつり	(10) 事業中 (5) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和9年1月10日	
(2) 実施場所	広島市立城山中学校	
(3) 参加者数	1,000人(見込み)	
(4) 主催団体	八幡エルモ、八幡おやじの会	
4 取組内容	- 前日の竹切りだし、やぐらたて、公民館では餅つき、焼き芋作り。町内会、子ども会、にこや、中学生ボランティア他地域諸団体から多くの手伝い100名程度。 - 当日は和楽器奏者ユニットや工大和太鼓サークルにオープニングアトラクションを皮切りにとんど点火、古来からの伝統、五穀豊穡、無病息災を来場者みなで祈る。豚汁、ぜんざいの振る舞い。かざぐるまや竹馬、缶ぽっくりなどの昔遊びコーナーも設けている。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 地域への愛着の醸成や古来行事の伝承を継続していくため、準備段階から子ども達に関わってもらいながら、とんどまつりに対する関心を向上させることにより、子どもの感性を育みながら、魅力ある八幡を好きになってもらい、住んでいて良かったと思える八幡のシビックプライドの醸成を図る。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 八幡学区内の一大イベントとして多世代交流や賑わいづくりの一翼を担っており、地域への愛着の醸成や地域活動への関心の向上、次代の担い手の確保が期待できる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	やはたふれあいまつり	(10) 事業中 (6) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年10月4日	
(2) 実施場所	広島市立八幡小学校、広島市八幡公民館	
(3) 参加者数	2,000人(見込み)	
(4) 主催団体	八幡エルモ、八幡ふれあいまつり実行委員会	
4 取組内容	敬老会に引き続いて、公民館にて活動しているサークルのステージ発表。グラウンドではバザー、公民館ではサークルの展示を行う。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） - 高齢者の外出・交流の機会が減少しつつあることから、公民館にて活動しているサークルのステージ発表やバザーを行い、住民の親睦、交流を図る。 - 高齢者のみならず、地元住民間の交流の場を維持・継続していくことを目的として、やはたふれあいまつりを実施する。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） サークル活動の発表の場を設けたり、バザーを開催することで、多くの来場者を集め、地域住民の交流の場を創出し、高齢者の外出・交流の機会の増加につなげる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	まつり充実事業	(10) 事業中 (7) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等	(1) 実施期間 こども夏まつり：令和8年8月 こども秋まつり：令和8年10月 (2) 実施場所 こども夏まつり：薬師が丘公園、八幡が丘公園 こども秋まつり：薬師が丘地区内、八幡が丘地区内、八幡神社 (3) 参加者数 1, 000人（見込み） (4) 主催団体 薬師が丘連合町内会、八幡が丘町内会連合会	
4 取組内容	- 夏まつりでは地元団体が、焼き鳥、からあげ、かき氷、ドリンク、ポテト、ポップコーン、わたがし、くじなどの出店やステージ発表を行う。 - 秋まつりではこども神輿を担いで町内を巡行する。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 夏まつりと秋まつりを継続し、内容を充実させることにより、子どもの感性を育みながら、魅力ある八幡を好きになってもらい、住んでいて良かったと思える八幡のシビックプライドの醸成を図る。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 夏の楽しみの一つである夏まつり、秋の楽しみである神輿担ぎを行うことにより、若者の帰省や地域住民の交流を促進することで、地域行事への関心を向上させ、担い手の確保につなげていくとともに、持続可能な行事にすることができる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	餅つき大会充実事業	(10) 事業中 (8) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年12月 ～ 令和9年2月	
(2) 実施場所	薬師が丘公園及び集会所、八幡が丘公園及び集会所、寺田集会所	
(3) 参加者数	500人（見込み）	
(4) 主催団体	薬師が丘連合町内会、八幡が丘町内会連合会、八幡学区町内会連合会	
4 取組内容		
世代を問わず参加者を募って餅つきを行い、焼いた餅を食べながら意見交換等を行うことで、多世代間の交流を図る		
5 目的・効果		
(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 現役世代が地域活動に無関心であるため、各連合町内会では、文化行事の継承や多世代交流の活性化、地域活動への関心の向上を目的として餅つき大会を行っており、その充実を図る。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 多世代間で意見交換等を行いながら餅つきを行うことにより、参加者の地域活動への関心を向上させ、次代の活動の担い手を確保していく。		

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	町内交流事業	(10) 事業中 (9) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年8月	
(2) 実施場所	保井田地域	
(3) 参加者数	100人（見込み）	
(4) 主催団体	八幡エルモ、八幡学区町内会連合会	
4 取組内容	・ 世代を問わず地域から参加者を募り、スイカ割りやヤマメのつかみ取り等を行う。 ・ 町内会の活動をPRし、町内会に加入するよう勧誘する。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 若い世代に町内会活動への関心を持ってもらうため、子ども達が楽しめるイベントを開催し、町内会活動の楽しさをアピールすることで、町内会未加入の保護者に町内会へ加入するよう働きかける。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 子ども達を始め、幅広い世代の方が参加できるイベントを開催し、参加者同士で意見交換等を行う機会を設け、町内会活動への関心を向上させることにより、町内会加入率の向上につなげる。	

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用する事業

1 事業名	環境美化事業	(10) 事業中 (10) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(7) 地域の生活環境の整備又は美化に資する活動	
3 実施期間等	(1) 実施期間 ゴミ拾いウォーキング：令和8年10月 保井田川不法投棄防止キャンペーン：令和9年1月 (2) 実施場所 保井田川上流、八幡学区内 (3) 参加者数 250人（見込み） (4) 主催団体 八幡エルモ、八幡学区公衆衛生推進協議会	
4 取組内容	（ゴミ拾いウォーキング） ・ 秋まつり前に4コースに分かれてウォーキングしながらゴミ拾いを行う。 ・ 住民の方にもゴミ放置がないよう、のぼり旗を持って歩いて見せてアピールする。 （保井田川不法投棄防止キャンペーン） 保井田川上流を薬師が丘側からと八幡が丘側からの上下から、二手に分かれて不法投棄されたゴミ拾いをする。城山中学校生徒に不法投棄撲滅看板を作製してもらい、当日、一緒に立てて回る。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・ 不法投棄、ゴミのポイ捨てが多い現状を解決するため、各活動を通じて、ゴミ拾いや環境美化意識の啓発を行うことで、不法投棄による地域の荒廃を防止する。 ・ 現役世代の地域活動への関心が薄れているため、ゴミ拾いを通じて地域住民間で交流を図ることにより、地域活動の重要性を知ってもらう。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 各活動を通じて、ゴミ拾いや環境美化意識の啓発を行い、住民が気持ちよく過ごせるまちにする。	

3 自主財源で実施する事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	取組内容
令和8年 11月3日	花いっぱい運動	(7) 地域の生活環境の整備又は美化に資する活動	地域の方の指導の下、小中学生、保護者等の地域住民で花苗をプランターに植える多世代交流